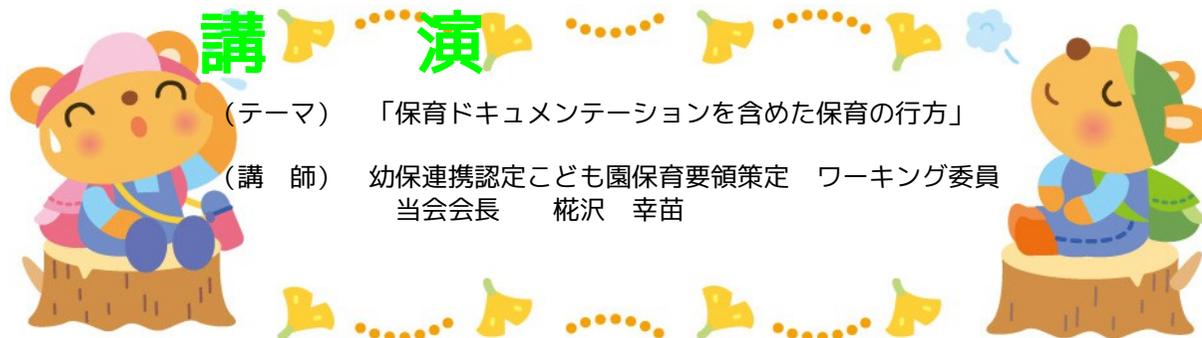


保育総合研究会広報誌 NO. 55

発行所： 保育総合研究会事務局 平成25年 10月 25日
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内
TEL 029-292-6868 FAX 029-292-3831
発行人： 会長 梶沢 幸苗

平成25年9月21日(月)午後1時50分から青森県八戸市において第46回定例会が行われた。



(テーマ) 「保育ドキュメンテーションを含めた保育の行方」

(講師) 幼保連携認定こども園保育要領策定 ワーキング委員
当会会長 梶沢 幸苗

* 保育園での情報発信 *

保育園は、色々準備をして様々な形で情報発信を行ってきている。だが、それが一方向になってしまっている。例えば写真を使っての情報発信の場合、背景は必要なく「うちの子の正面の顔写真が欲しい」と要望される。つまり、保育園でどういう学びをしてどういう力をつけているかという保護者の方に認識がなく、子どもは自然に力が育つと思っている。保育園では福祉の観点から子育て支援が大きくクローズアップされているが、困っている人に援助するという自己満足的考えが多く、子どもと一緒に育てていくという意識が希薄である。



保育園と保護者が連携するためには、保育園が情報を出しそれを保護者がフィールドバックして共通の認識をもち、子どもと一緒に育てていくことが必要である。そして、家庭も子どもの教育環境として成り立っていき子どもの育ちがより高められる。具体的で正確な情報を保護者に分かるようにしていく方法としてドキュメンテーションを提案する。

* ドキュメンテーションの方法 *

年間計画から月間計画に、さらに週案に落とし日案に繋がり保育の教材を準備して保育を行う。そして行った保育の写真と簡単なコメントを書く。ねらいを始め、「遊びの中で〇〇に興味を持ち」、「〇〇に注目をして」、「〇〇〇という新発見をしているところです」と書いていく。とくに写真の下は読んでくれるためコメントを工夫して家庭で子育てのヒントになるように記述する。

* ドキュメンテーションを取り入れる目的 *

子どもは保育園で経験をしたことを言葉で十分伝えきれないから問われても黙ってしまう事もある。だから、保護者がドキュメンテーションを読むことで保育の内容がわかり「〇〇を発見したの?」と保護者と子どもの会話につながる。

また、ドキュメンテーションを通して保育士と保護者の共通理解ができ、保護者の意識が変わる。共通理解をすることで情報が共有され子どもと一緒に育てていけるようになり、さらに共通理解があると保育に協力して頂けるようになる。

* 教えることの正しい理解と大切 *

教える教育は、上から下に押さえつけて強制するという意識が強く抵抗を感じるようである。乳幼児教育とは、環境から学びとることを大前提として、その中で子どもは面白がって遊んでいる。遊びの中で、保育士が子どもに力をつけてもらうためにどういう環境を設定すればいいのか意識をもち環境設定することが教育である。

また、子どもが想像や発想を自ら生み出すために、はさみや紙等の道具の基礎的な使い方を教えて子どもが使いこなすことが必要である。

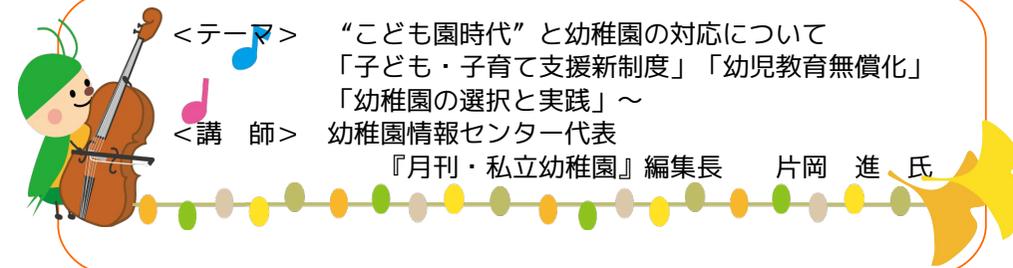
* 新制度に移行 *

新制度に移行した場合、保育要領が法律化されるため文章が退化してしまう。そのため、保育士は具体的な知識が必要である。頭の中で分かっているだけでなく、文章にしていくこと。例えば、子どもが元気に遊ぶことは、そのことによりどのような育ちやどのような力をつけて行っているのかを理解して発信することにより保育に差がでてくる。そのためには、自分自身の保育を意識して、子どもを意識する。

* ドキュメンテーションのメリット *

- ① 保護者との共通認識ができる。
- ② 作成を行っていくうちに保育士自身の質の向上になる。
- ③ 園内研修の教材として子どもの育ちを共有して園全体の資料になる。
- ④ スクラップしていき、新人研修に遊んで育つ具体的イメージが理解できる。

講演



<テーマ> “こども園時代”と幼稚園の対応について
「子ども・子育て支援新制度」「幼児教育無償化」
「幼稚園の選択と実践」～
<講師> 幼稚園情報センター代表
『月刊・私立幼稚園』編集長 片岡 進 氏

片岡氏は私立幼稚園に40年関わってきました。20年前に「月刊・私立幼稚園」を立ち上げ現在152号を出版しており、文字と写真で幼稚園の様子を伝えてきました。86号からはインターネットでも見られるようになっています。

1. 私立幼稚園の現状
・1100施設の幼稚園がやめていった。
何が原因か。後継者がいないなどの理由で個人立、宗教法人立の幼稚園がやめていった。



・保護者の幼稚園経験者は子どもを幼稚園を希望し、保育園を卒園した親は、自分の子どもを保育所に入園させるという現実がある。そして、子どもの頃保育園を卒園した人は保育士として保育園を希望する現実がある。

・幼稚園にも待機児童はいる。

人気のある幼稚園は、兄弟、父母、祖父母が入園していたことで優先入園枠があり、入園全体の80%、残り入園枠は20%程度になっている。したがって全国7800施設のうち、約1000幼稚園で待機児童がいることになる。

2、私立幼稚園の現状の選択

①幼保連携型認定こども園になる ②幼稚園型認定こども園になる（多くなる可能性）

③現状の私立幼稚園のままでいく ④しばらく状況を見る

幼保連携型認定こども園に対して、幼稚園は法的位置付けされるが、学校教育法第1条校から外れる抵抗がある。

3、幼児教育無償化について

第1段階＝幼稚園で上の子が小3までの場合、2番目を半額、3番目以降を無料化して就園奨励費の充実を図る。

第2段階＝年長5歳児を無料に（5歳児義務教育化への布石）

ゆくゆくは5歳児の無償化は5歳児義務教育化へ向かうのではと思われる。しかし、5歳児義務化は小学校1年前倒しではなく、就学前教育の拡充としなければならない。准公立化を危惧することもあり、保育園と一緒に対抗できるかもしれない。

4、「こども園時代」は保幼状況をどう変えるか

「幼保」とか「保幼」とか言葉が統一されないが、0歳からの育ちを考えると「保幼」という言葉が適切ではないかと以前から言っている。期待をこめて保幼状況が変わってほしいと思う。

5、私立幼稚園の課題

（1）教職員の確保

女性の教職員は即戦力であるが、人材が集まらない。保育所へ流れているわけではなく、株式会へ流れていると思われる。これからは4年生大学卒業生及び男性の活用を図るべきである。

（2）経営体質の改善

世襲と家業の意識のけじめが必要である。

（3）0歳からの子育て支援

幼稚園では0歳からの視点が弱く、4・5歳で手一杯、保育所へと流れていった。子育て支援の観点から、生まれた子が月に1回でも幼稚園へ、2歳になったら週に1回は幼稚園へ来れるようなことも検討すべきである。

（4）満3歳入園の拡充＝将来の9月入学を願っている人もいるが、待機児童がいる幼稚園は、そこまで手が回っていかない。

園児が少なくなっている幼稚園は、満3歳児（2歳児クラス）も行っている中で、やるべきではないかと思う。世界の大半は9月入学制をとっているので9月入学の備えにもなるのではないか。

（5）刺激と活性化

色々な園を見学して感じることは、同士ネットワークが必要ということである。

（6）私立幼稚園が目指すエクセレント幼稚園の道

①伝える努力 ②選べる工夫 ③集まる魅力

④卒園児への視線⑤常にチェンジ⑥ネーミングの心

⑦総合セキュリティ



八戸パークホテルにおいて中居林保育園
創立50周年記念を祝う会が行われました。



次回お知らせ

平成25年12月 9日(月)

12月10日(火) 年次大会(アルカディア市ヶ谷)

平成26年 2月17日(月) 定例会(沖縄)

2月18日(火) 保育科学研究委員会(沖縄)

※2月、沖縄はプロ野球キャンプシーズンなのでアクセス、宿泊についてはお早めに各自でお願いいたします。

